

# レッツ原価管理

# Go2

## リモートデスクトップサービス構築マニュアル

WAN環境で使用する場合のセットアップ

LET'S

# 目次

1 はじめに .....	1-1
2 Windows Server 2022,2019,2016	1-2
WORKGROUP環境の場合	
リモートデスクトップセッションホスト役割サービスの追加 .....	1-2
リモートデスクトップセッションホストの構成 .....	1-5
ライセンスサーバーのアクティブ化 .....	1-8
リモートデスクトップ用ユーザーアカウントの設定 .....	1-13
レッツ原価管理Go2のリモートデスクトップショートカットの作成 .....	1-15

- 本書では、レッツ原価管理Go2をWAN環境でセットアップするための方法のみ解説しております。機能および基本的な操作方法につきましては、「レッツ原価管理Go2操作マニュアル」でご確認ください。
- 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。
- Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

## 1 はじめに

レッツ原価管理Go2をリモートデスクトップサービスでご利用いただく場合のセットアップ手順です。  
当マニュアルではワークグループ環境を想定して説明いたします。

Windows Server 2022,2019,2016のエディションは  
DatacenterまたはStandardをご利用ください。

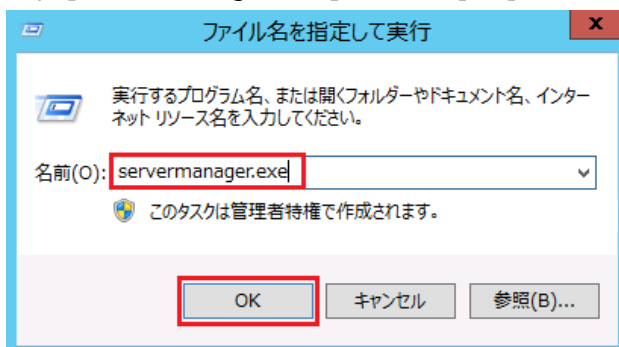
### 全体の流れ

- 1 レッツ原価管理Go2をサーバーにインストールします。  
【注意】必ず管理者権限を持つユーザーでインストールしてください。  
  
サーバーコンピューターに対して[サーバーのインストール]と[クライアントのインストール]の両方を行ってください。
  - ☞ インストールマニュアル(ネットワーク版)  
2-1サーバーのセットアップ 3-1クライアントのセットアップ
- 2 サーバーコンピューターにリモートデスクトップサービスをインストールします。
  - ☞ P.1-2 リモートデスクトップセッションホスト役割サービスの追加
- 3 インストールしたリモートデスクトップサービスの設定を変更します。
  - ☞ P.1-5 リモートデスクトップセッションホストの構成
- 4 ライセンスサーバーのアクティブ化とライセンスのインストールを行います。
  - ☞ P.1-8 ライセンスサーバーのアクティブ化
- 6 クライアントPCでレッツ原価管理Go2リモートデスクトップショートカットを作成します。
  - ☞ P.1-15 レッツ原価管理Go2のリモートデスクトップショートカットの作成
- 7 クライアントで接続します。

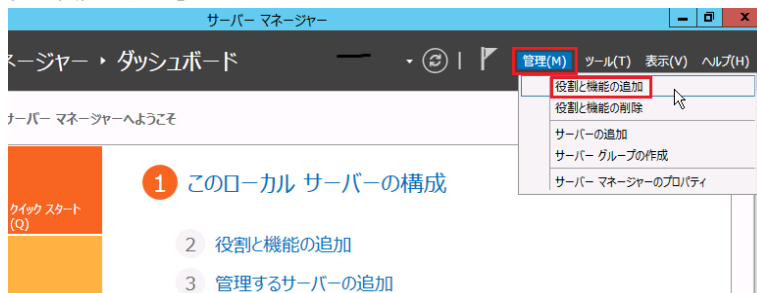
## 2 Windows Server 2022,2019,2016 WORKGROUP環境の場合

### リモートデスクトップセッションホスト役割サービスの追加

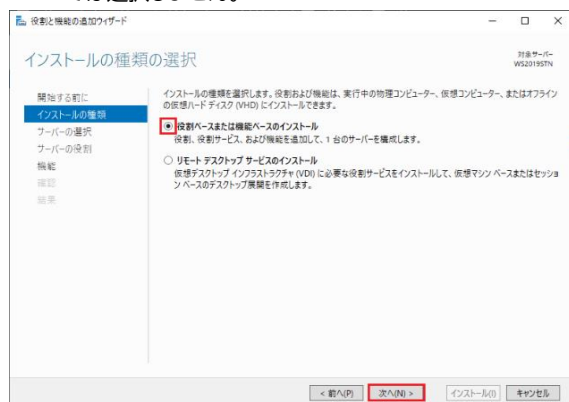
- 1 管理者アカウントでログオンします。
- 2 [スタートメニュー]から[サーバーマネージャー]を開きます。  
見つからない場合は[Windows]+[R]キーを押してファイル名を指定して実行を起動し[servermanager.exe]と入力して[OK]をクリックします。



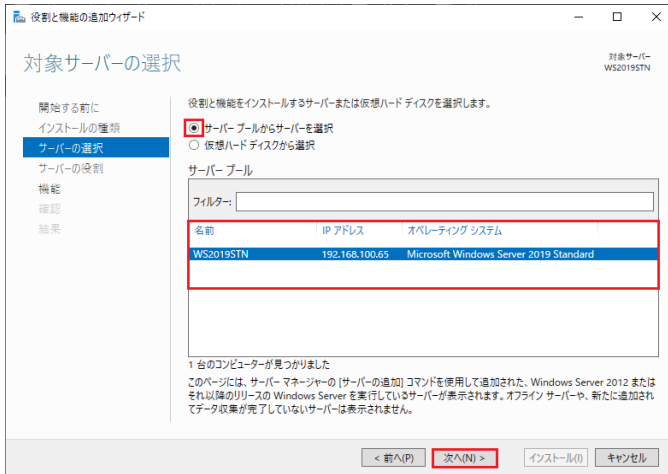
- 3 サーバーマネージャーを起動後、メニューバーより[管理]をクリックし[役割と機能の追加]をクリックします。



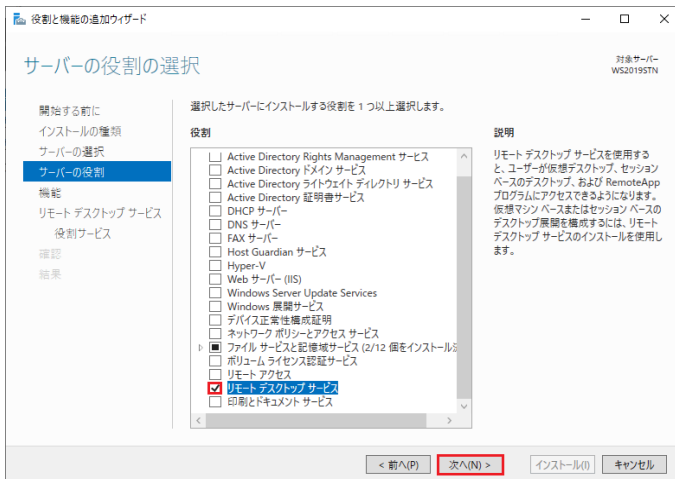
- 4 役割と機能の追加ウィザード画面が表示されたら[次へ]をクリックします。
- 5 [役割ベースまたは機能ベースのインストール]を選択し[次へ]をクリックします。  
※[リモートデスクトップサービスのインストール]が選択肢として表示されますが、仮想デスクトップインフラストラクチャ(VDI)に使用するサービスでありここでは選択しません。



- 6 [サーバープールからサーバーを選択]が選択されていることを確認し、  
[サーバープール]欄よりインストール対象のサーバーを選択して  
[次へ]をクリックします。  
※ 単一サーバーの場合はそのまま[次へ]をクリックします。



- 7 [リモートデスクトップサービス]にチェックを入れ[次へ]をクリックします。



- 8 機能の選択画面に移るので何も選択せず[次へ]をクリックします。

- 9 リモートデスクトップサービス画面に移るので[次へ]をクリックします。

- 10 [Remote Desktop Session Host]と[リモートデスクトップライセンス]にチェックを入れます。チェックを入れた際に表示される画面で[管理ツールを含める]にチェックが入っていることを確認して[機能の追加]をクリックし[次へ]をクリックします。



- 11 インストールオプションの確認画面でインストールオプションを確認します。適宜[必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する]にチェックを入れ[インストール]をクリックします。

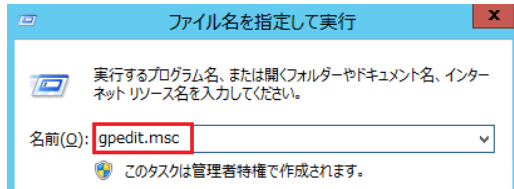


[必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する]にチェックを入れると「自動的に再起動しますか?」というポップアップが表示されるので[はい]をクリックします。

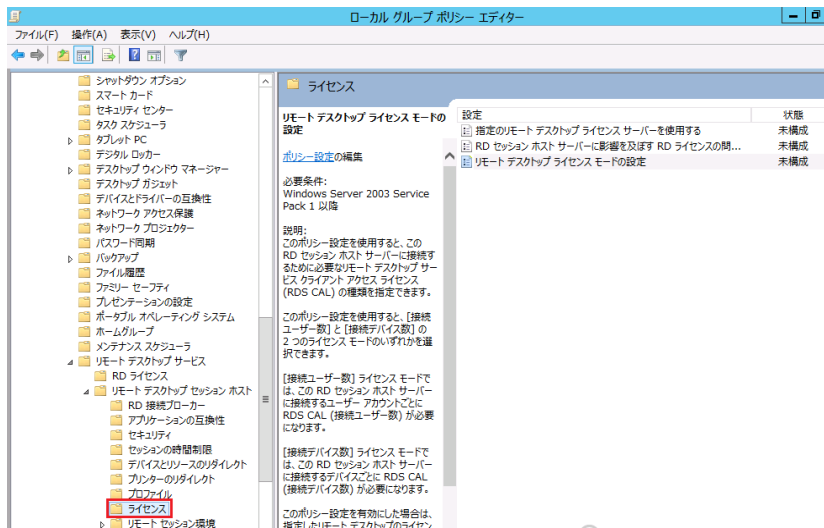
- 12 インストールの進行状況画面で「インストールが正常に完了しました」の表示を確認し構成は完了です。[閉じる]をクリックしウィザードを終了します。

## リモートデスクトップセッションホストの構成

- 1 管理者アカウントでログオンします。
- 2 [Windows]+[R]キーを押してファイル名を指定して実行を起動し、[gpedit.msc]と入力して[OK]をクリックします。



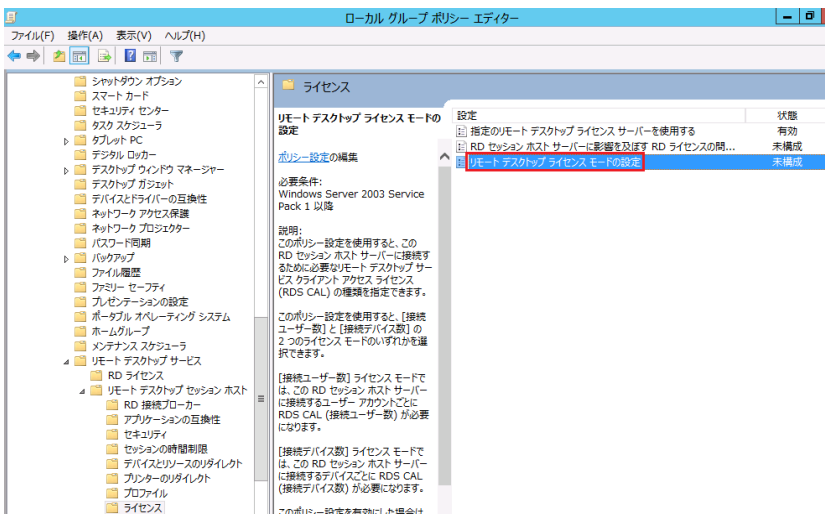
- 3 グループポリシーエディター画面が表示されたら、左ペインより [コンピューターの構成] → [管理用テンプレート] → [Windowsコンポーネント] → [リモートデスクトップサービス] → [リモートデスクトップセッションホスト] → [ライセンス]の順に展開します。
- 4 [指定のリモートデスクトップライセンスサーバーを使用する]をダブルクリックします。



- 5 [有効]を選択して[使用するライセンスサーバー]の部分にサーバーのコンピューター名またはIPアドレスを入力します。



- 6 [リモートデスクトップライセンスモードの設定]をダブルクリックします。

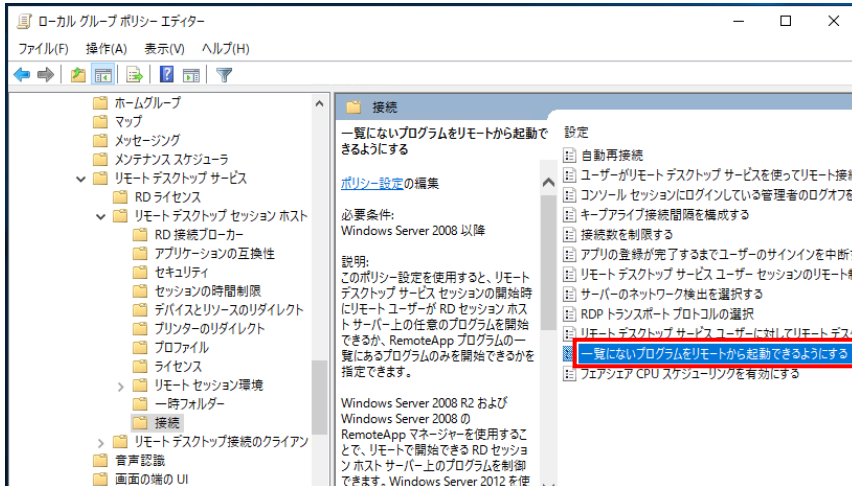


- 7 [有効]を選択し、プルダウンメニューより購入されているライセンスモードを指定して[OK]をクリックします。





- 8 次に左ペインから[接続]を選び、  
[一覧にないプログラムをリモートから起動できるようにする]をダブルクリックします。

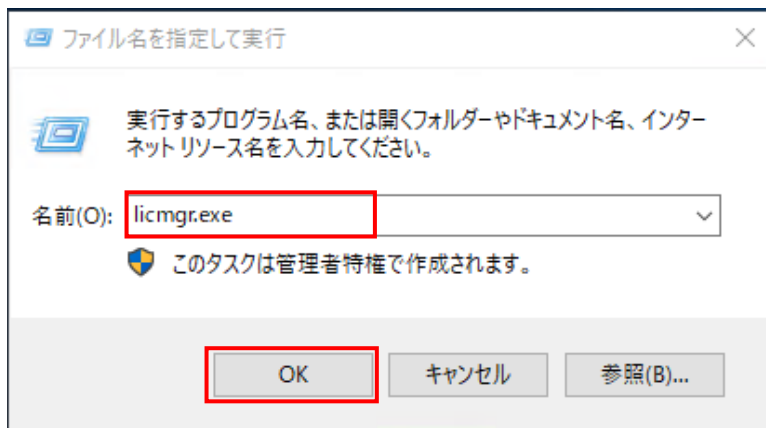


- 9 [有効]を選択し、[OK]します。

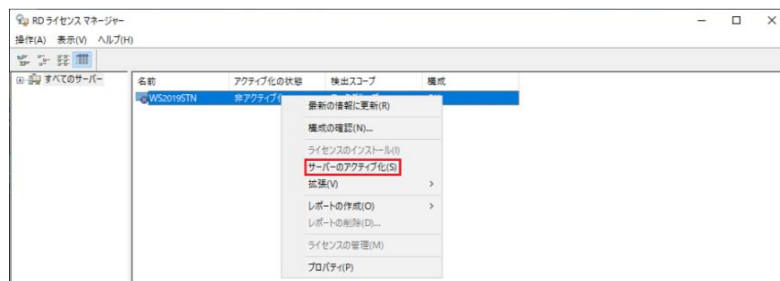


## ライセンスサーバーのアクティブ化

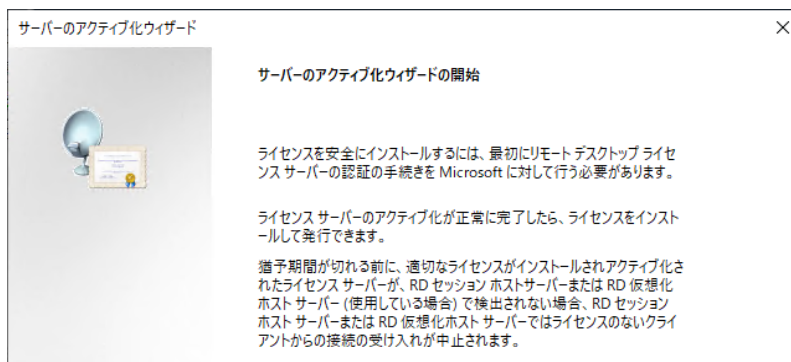
- 1 [スタートメニュー]→[Windows管理ツール]から  
[リモートデスクトップライセンスマネージャー]を開きます。  
ない場合は[Windows]+[R]キーを押して[ファイル名を指定して実行]を起動し  
[licmgr.exe]と入力して[OK]をクリックします。



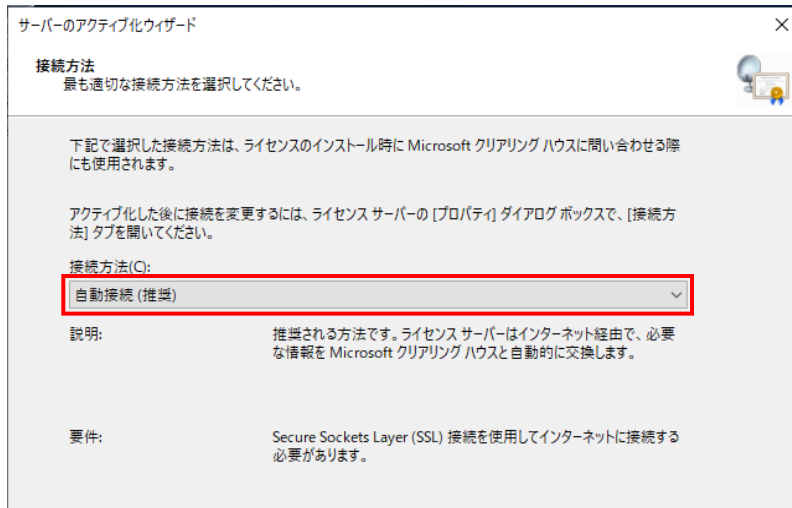
- 2 サーバーを右クリックして[サーバーのアクティブ化]をクリックします。



- 3 サーバーアクティブ化ウィザードの開始画面が表示されるので[次へ]をクリックして進めます。



- 4 接続方法の設定画面が表示されます。  
[自動接続]になっていることを確認して[次へ]をクリックします。



サーバーのアクティブ化ウィザード

**接続方法**  
最も適切な接続方法を選択してください。

下記で選択した接続方法は、ライセンスのインストール時に Microsoft クリアリング ハウスに問い合わせる際にも使用されます。

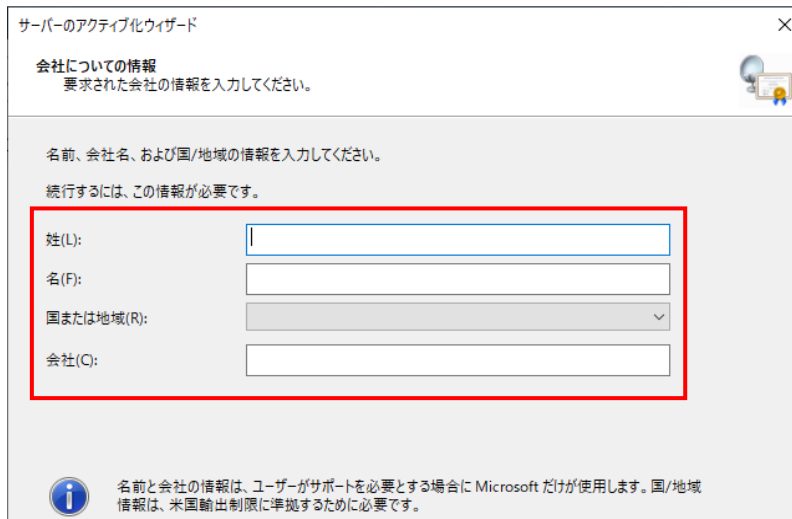
アクティブ化した後に接続を変更するには、ライセンス サーバーの [プロパティ] ダイアログ ボックスで、[接続方法] タブを開いてください。

接続方法(C):  
**自動接続 (推奨)**

説明: 推奨される方法です。ライセンス サーバーはインターネット経由で、必要な情報を Microsoft クリアリング ハウスと自動的に交換します。

要件: Secure Sockets Layer (SSL) 接続を使用してインターネットに接続する必要があります。

- 5 会社情報を入力します。  
入力したら[次へ]をクリックします。



サーバーのアクティブ化ウィザード

**会社についての情報**  
要求された会社の情報を入力してください。


名前、会社名、および国/地域の情報を入力してください。  
続行するには、この情報が必要です。

姓(L):

名(F):

国または地域(R):

会社(C):

 名前と会社の情報は、ユーザーがサポートを必要とする場合に Microsoft だけが使用します。国/地域情報は、米国輸出制限に準拠するために必要です。

- 6 次に詳細な会社情報を入力します。  
入力しない場合[次へ]をクリックしてスキップすることも可能です。  
[次へ]をクリックするとライセンスサーバーのアクティブ化が開始されます。

The screenshot shows the 'Server Activation Wizard' dialog box with the title 'サーバーのアクティブ化ウィザード'. The current step is '会社についての情報' (Company Information), with the instruction 'このオプションの情報を入力してください。' (Please enter this option information). The form contains several input fields: '郵便番号(P):' (Postal code), '都道府県(S):' (Prefecture), '市区町村(C):' (City/Town/Village), '会社住所(A):' (Company address), '組織単位(O):' (Organization), and '電子メール(E):' (Email). At the bottom, there is an information icon and a note: 'このページに入力したオプションの情報は、ユーザーがサポートを必要とする場合に Microsoft サポート担当者だけが使用します。' (Information entered on this page is used only by Microsoft support staff when a user needs support).

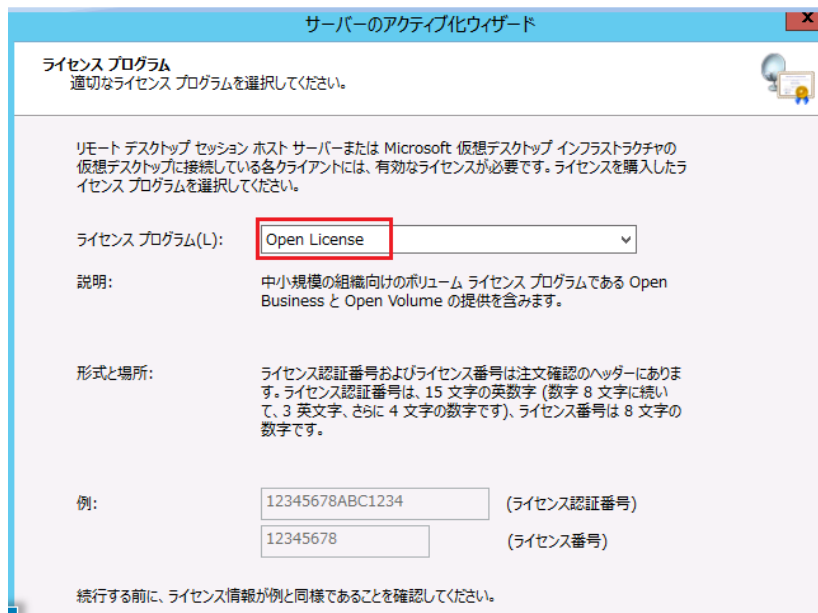
- 7 ライセンスサーバーのアクティブ化が完了します。  
[ライセンスのインストールウィザードを開始する]にチェックした状態で[次へ]をクリックし、続いて[ライセンスのインストール]を行います。

The screenshot shows the 'Server Activation Wizard' dialog box at the completion stage. The title is 'サーバーのアクティブ化ウィザード'. The main heading is 'サーバーのアクティブ化ウィザードの完了' (Server Activation Wizard Completed). The text reads: 'サーバーのアクティブ化ウィザードを完了しました。' (Server activation wizard completed). Under '状態:' (Status), it says: 'ライセンスサーバーは正常にアクティブ化されました。' (License server activated normally), 'ライセンスをインストールするには、[次へ]をクリックしてください。' (Click [Next] to install the license), and '後でライセンスをインストールするには、[ライセンスのインストールウィザードを開始する] チェック ボックスをオフにして、[完了] をクリックしてください。' (To install the license later, turn off the [Start License Installation Wizard] checkbox and click [Finish]). At the bottom, the checkbox '☑ [ライセンスのインストール ウィザードを開始する(S)]' is highlighted with a red box.

- 8 ライセンスのインストールウィザード開始画面が表示されます。  
[次へ]をクリックして進めます。



- 9 ライセンスプログラム画面が表示されたら[ライセンスプログラム]の製品メニューより適切なライセンスプログラムを選択し[次へ]をクリックします。  
※ここからの手順はご購入いただいたライセンス形態により異なります。  
ここでは[Open License]を選択して進めていきます。



10 次に購入しているライセンス番号を入力し[次へ]をクリックします。

サーバーのアクティブ化ウィザード

ライセンスプログラム  
ライセンス契約番号を入力してください。

購入したライセンスのライセンス契約番号を入力してください。ライセンスプログラムを変更するには、[戻る]をクリックしてください。

ライセンスプログラム: Open License

ライセンス契約番号(A):  (ライセンス認証番号)  
 (ライセンス番号)

例:

11 製品のバージョン、ライセンスの種類を選択、ライセンス数を入力し[次へ]をクリックします。

ライセンスのインストール ウィザード

製品バージョンとライセンスの種類  
製品バージョンとライセンスの種類を選択してください。

ライセンスサーバーにインストールするライセンスの製品バージョンとライセンスの種類を選択してください。

ライセンスプログラム: Open License

製品バージョン(V):

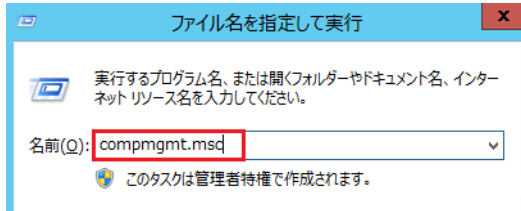
ライセンスの種類(T):

ライセンス数(Q):   
(このライセンスサーバーで利用可能になるライセンスの数)

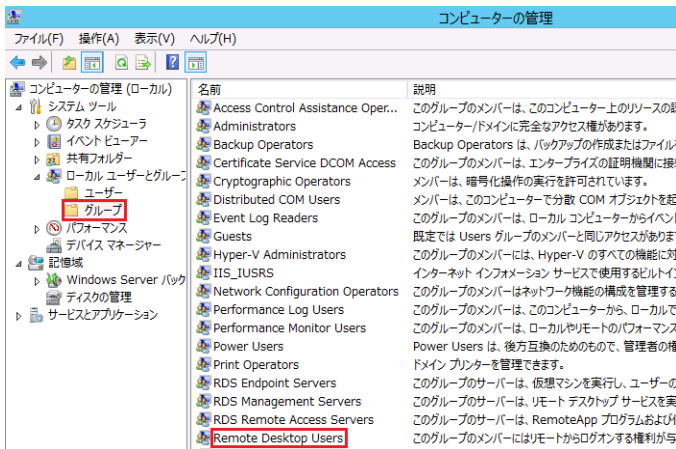
12 インストール後[ライセンスのインストールウィザードが正常に完了しました。]と表示されたら[完了]をクリックし、インストールを終了します。

## リモートデスクトップ用ユーザーアカウントの設定

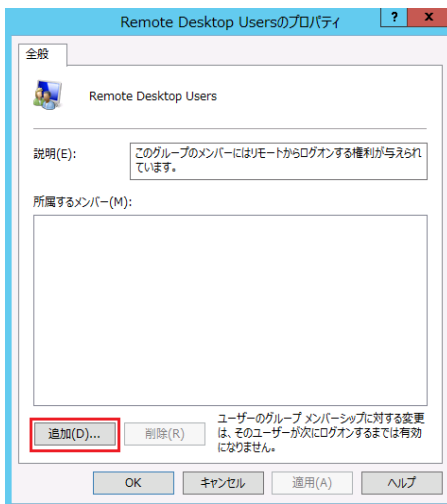
- 1 管理者アカウントでログオンします。
- 2 [Windows]+[R]キーを押してファイル名を指定して実行を起動し、[compmgmt.msc]と入力して[OK]をクリックします。



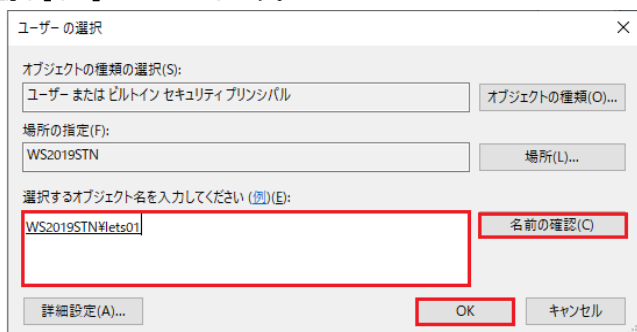
- 3 コンピューターの管理画面が表示されたら[ローカルユーザーとグループ]を展開し[グループ]をクリックします。グループ一覧より[Remote Desktop Users]をダブルクリックします。



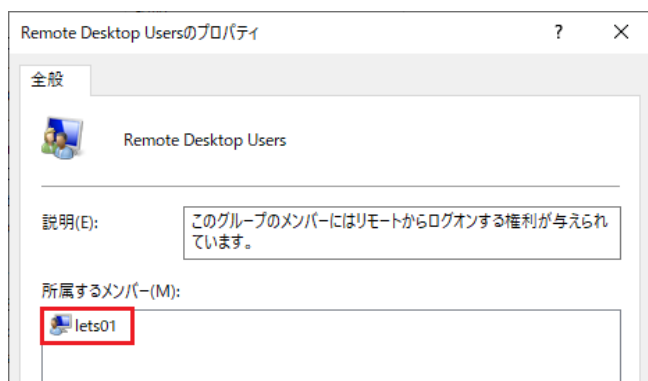
- 4 Remote Desktop Usersのプロパティ画面で[追加]をクリックします。



- 5 [選択するオブジェクト名を入力してください]欄にリモートデスクトップで使用するユーザーアカウントを入力し[名前の確認]をクリックします。名前が確定されたことを確認し[OK]をクリックします。



- 6 [所属するメンバー]欄に追加したアカウントが表示されていることを確認し[OK]をクリックします。





## レッツ原価管理Go2のリモートデスクトップショートカットの作成

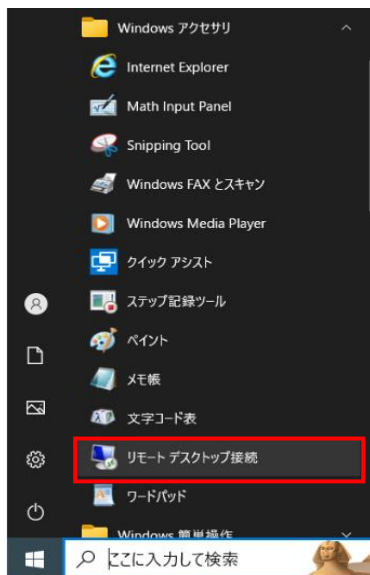
## [Windows11の場合]

[スタート]→[すべてのアプリ]→[Windows ツール]→[リモートデスクトップ接続]をクリックします。

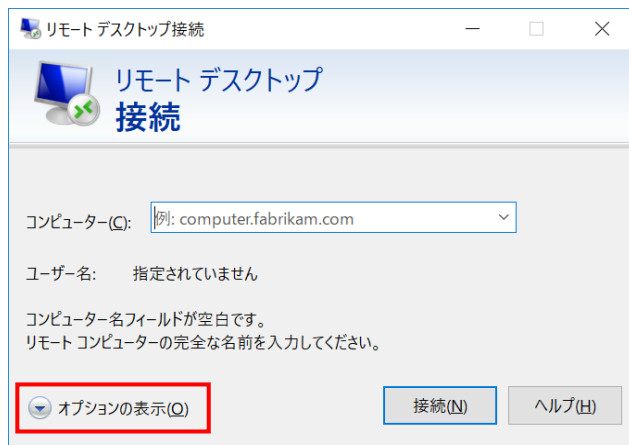


## [Windows10の場合]

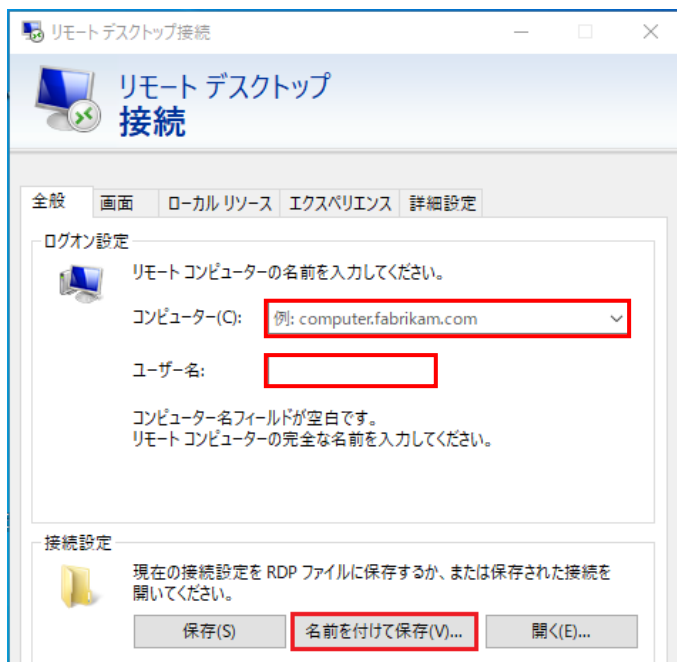
[スタート]→[Windowsアクセサリ]→[リモートデスクトップ接続]をクリックします。



- 1 リモートデスクトップ接続の画面を開いたら[オプション表示]をクリックします。



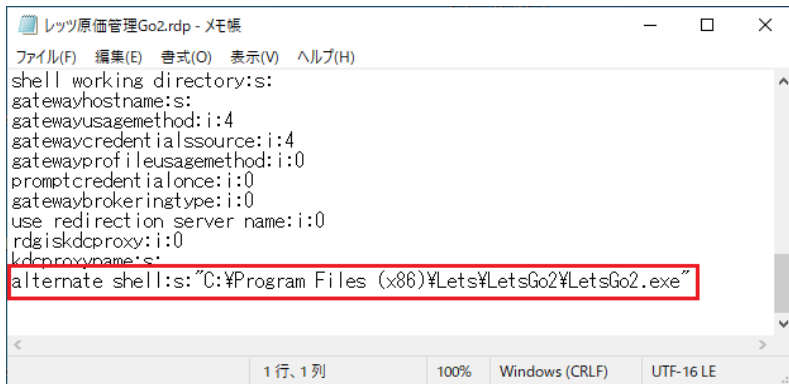
- 2 ログオン設定の部分にリモート接続するサーバーのコンピューター名(またはIPアドレス)ログオンするユーザを入力します。  
入力された状態で接続設定の[名前を付けて保存]をクリックしRDPファイルを作成します。



- 3 作成したRDPファイルを右クリック→[プログラムから開く]→[メモ帳]で開きます。

- 4 開いたメモ帳の最後の行に[alternate shell:s:"プログラムパス・ファイル名"]を入力して上書き保存します。

(例) alternate shell:s:"C:¥Program Files (x86)¥Lets¥LetsGo2¥LetsGo2.exe"



- 5 編集したRDPファイルをダブルクリックすることでリモートデスクトップ接続し自動的にサーバー上のレッツ原価管理Go2が起動されます。

※初回接続時はログオンユーザーのパスワードが求められます。

次回以降パスワード確認を表示しないようにするには[資格情報を記憶する]にチェックします。

※作成したRDPファイルではレッツ原価管理Go2のみ操作できます。

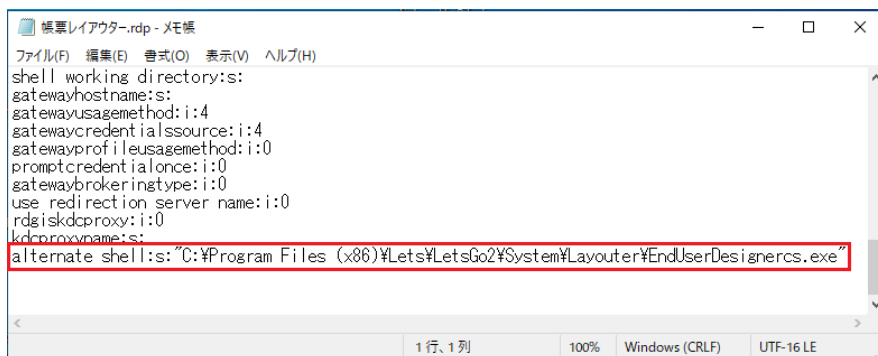
(レッツ原価管理Go2を閉じた場合リモートデスクトップ接続も切断されます。)

#### 帳票レイアウトのリモートデスクトップショートカットの作成

- 1 1-15,レッツ原価管理Go2のリモートデスクトップショートカットの作成の1~3の手順でRDPファイルを作成し、メモ帳で開きます。

- 2 開いたメモ帳の最後の行に[alternate shell:s:"プログラムパス・ファイル名"]を入力して上書き保存します。

(例) alternate shell:s:"C:¥Program Files (x86)¥Lets¥LetsGo2¥System¥Layouter¥EndUserDesignercs.exe"



- 3 編集したRDPファイルをダブルクリックすることでサーバー上の帳票レイアウトが起動できます。

※ レッツ原価管理Go2のショートカットと同様に帳票レイアウトのみ操作できます。(帳票レイアウトを閉じた場合リモートデスクトップ接続も切断されます。)

M e m o

M e m o

---

レッツ原価管理Go2

インストールマニュアル  
(WAN版)

---

初 版                    2017年8月17日

第 4 版                    2023年10月23日

発 行 者                    株式会社レッツ  
〒989-6106 宮城県大崎市古川幸町1丁目6-12

・本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがございます。

---



**LET'S**